



令和4年度日事連建築賞

日事連建築賞選考委員会

- 委員長 富永 譲**
法政大学名誉教授
(有) 富永譲・フォルムシステム設計研究所代表
- 委員 石坂 聡**
国土交通省大臣官房審議官
- 委員 伊藤香織**
東京理科大学理工学部教授
- 委員 陶器二三雄**
(株) 陶器二三雄建築研究所代表
- 委員 中谷正人**
建築ジャーナリスト
- 委員 松村秀一**
東京大学特任教授
- 委員 丸川眞太郎**
日事連前副会長、岡山会会長
(株) 丸川建築設計事務所代表

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 78 点、小規模建築部門 96 点の合計 174 点の応募があり、単位会での第 1 次審査を経て、27 単位会から日事連に一般建築部門 23 点、小規模建築部門 28 点、合計 51 点の建築作品の応募がありました。

日事連での第 2 次審査では、まず 6 月 24 日の選考委員会にて受賞候補作品を選定し、その後、一般建築部門および小規模建築部門からそれぞれ 5 作品の現地審査が行われました。

8 月 10 日の最終選考委員会において討議・検討の結果、国土交通大臣賞と日事連会長賞、また、本年日事連が創立 60 周年を迎えるにあたり第 3 の賞として特別に設置された「60 周年記念賞」には 2 作品を選定しました。さらなる討議・検討の結果、一般建築部門から 2 作品、小規模建築部門から 3 作品を優秀賞とし、優秀賞に準ずるものとして、一般建築部門および小規模建築部門からそれぞれ 5 作品を奨励賞に選定しましたので、以下に紹介します。

一般建築部門：延面積が 1,000㎡を超え 20,000㎡[※]以下の建築物

小規模建築部門：延面積が 1,000㎡以下の建築物（戸建住宅を含む）

※本年度より延面積の上限が 10,000㎡から拡大

国土交通大臣賞 | 一般建築部門 (1 点)

阿波銀行本店営業部ビル
(株) 日建設計一級建築士事務所 | 大阪会

日事連会長賞 | 小規模建築部門 (1 点)

上有住地区公民館
PERSIMMON HILLS architects | 神奈川会

60 周年記念賞 | 一般建築部門 (1 点)

新富士のホスピス 川村病院 | いまここ |
一級建築士事務所 (株) 山崎健太郎デザインワークショップ | 東京会

60 周年記念賞 | 小規模建築部門 (1 点)

みんなの診療所
(株) 松山建築設計室 | 福岡会

優秀賞 | 一般建築部門 (2 点)

武蔵野クリーンセンター・むさしのエコ re ゾート
水谷俊博建築設計事務所一級建築士事務所 /
鹿島建設 (株) 一級建築士事務所 | 東京会

アネシス茶屋ヶ坂
清水建設 (株) 名古屋支店一級建築士事務所 | 愛知会

優秀賞 | 小規模建築部門 (3 点)

柄と繪
(株) ヒヤッカ | 福井会

BONUSTRACK
(株) ツバメアーキテクト | 東京会

森のクリニック
一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所 | 東京会

奨励賞 | 一般建築部門 (5 点)

楽水山
(株) 竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

藤田美術館
大成建設 (株) 関西支店一級建築士事務所 | 大阪会

奈良ホテル本館 (木造) 耐震補強工事
ジェイアール西日本コンサルタンツ (株) 一級建築士事務所 | 大阪会

武庫川女子大学 景観建築スタジオ 東館
武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ /
(株) アスコラル構造研究所 / (株) 森村設計 | 兵庫会

尾道市因島総合支所
(株) あい設計 | 広島会

奨励賞 | 小規模建築部門 (5 点)

ESCALIER 麴町
(株) 櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS | 東京会

下石の通い所
ほとり建築事務所 / Uo.A | 兵庫会

森の潜水艇 ホップこども園 森棟
(株) 高田建築設計事務所 | 新潟会

瀬戸新屋の家
(株) SN Design Architects 一級建築士事務所 | 静岡会

Rural House
葛島隆之建築設計事務所 | 愛知会

優秀賞以上の作品については、本誌 11 月号から始まる連載「令和 4 年度日事連建築賞作品紹介」にて、図面とともに詳細記事を掲載する予定です。



かつて丸新百貨店が立っていた、新町橋通りと東新町商店街の交差点に位置する

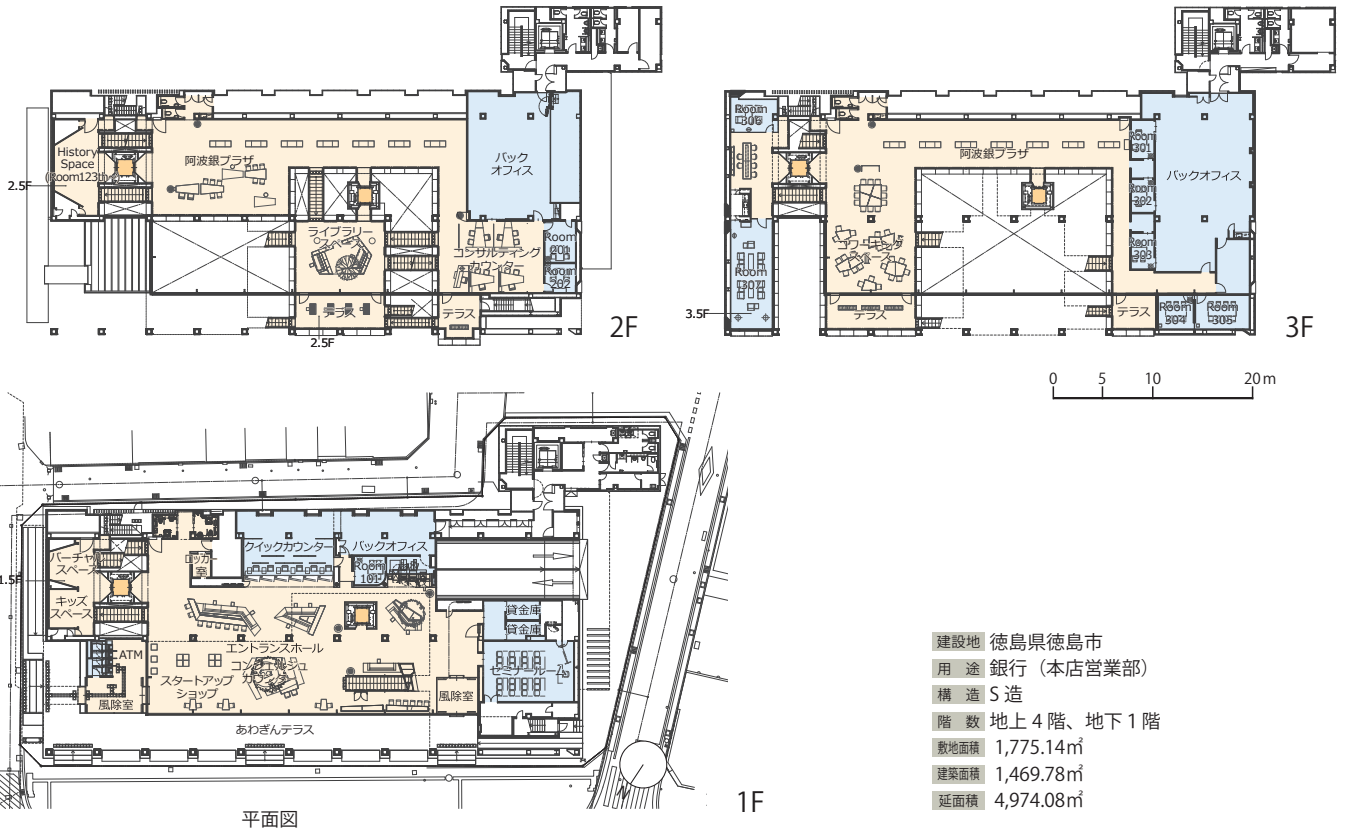
国土交通大臣賞 | 一般建築部門

❖ 阿波銀行本店営業部ビル ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 | 大阪会

持続可能な都市を実現するために、地方銀行に求められていることは何か。議論を経てたどり着いた答えは、「阿波銀行の提供する価値に共感してくれる人々のパートナーになる」こと。お客さまはもとより、地域住民、観光客にも訪れてもらうパブリックスペース中心の構成を考えた。行是「堅実経営」を体現すべく、水平・垂直を基本とした端正なフレームで構成した骨格と徹底したモジュール設計により、建築全体に規律を与えた。外装をセットバックさせて奥行きを生み出し、商店街の活動を引き込むとともに、レベルの異なる床を外部に貫通させて、内部のアクティビティを表出。旗艦店舗の「品格」とパブリックの「にぎわい」が共存する、二面性のある表情豊かな建築を目指した。



スキップフロアによる回遊性の高い内部空間





日事連会長賞 | 小規模建築部門

◆ かみありす 上有住地区公民館 ▶ PERSIMMON HILLS architects | 神奈川会

小・中学校や住田町民俗資料館が集まる公共施設帯における、地区公民館の建て替えプロジェクト。民俗資料館は、かつての上有住小学校校舎（1928年築）で、地域住民からの保存要望により曳家された。しかし、旧公民館の建設後だったため、へた地に曳家することになり、敷地入口からみて旧公民館が民俗資料館に被る形で建っていた。

新公民館は、民俗資料館の軸と合わせた配置とし、かつ地形の軸を拾うことで、全体的に三角形の平面構成となり、民俗資料館の軸と地形の軸の結節点に半屋外の三角土間を設けた。これにより、民俗資料館の前広場であ

りつつ、地形と建築で矩形に縁どられた二重の広場を生み出している。三角土間はエントランスであり、イベントや遊び場としても使われる内外の活動をつなぐ空間となった。

半屋外の土間と内部のホールを棟とした緩勾配の大きな屋根は、周囲の山々と呼応しつつ、民俗資料館に向かって軒が低くなり、遠近感が生まれ、民俗資料館の象徴性を高めている。棟から両側に方杖を出す構造により、圧縮力を打ち消し合い、かつ8.19mの大きなスパンの中央に継ぎ手を設ける構造とし、町内のプレカット工場で供給できる6m以下の町産材のスギ材・カラマツ材で架構を構成



民俗資料館の象徴性を高める屋根の構成



三角土間のエントランス



町産杉を架構だけでなくルーバーやフローリングにも使用したホール

した。継ぎ手は追掛大柱継といった伝統工法をベースとして、強度が必要な棟木には鉄を用いた接合部によって現代の技術と伝統的な技術をハイブリッドして解いている。

物理的にも関係的にも、町の資源との連関を強めていくあり方を模索した。

- 建設地 岩手県気仙郡住田町
- 用途 公民館（図書館その他これらに類するもの）
- 構造 木造（軸組）
- 階数 地上1階
- 敷地面積 3,796.14㎡
- 建築面積 670.75㎡
- 延面積 521.79㎡





庭のお手入れの日常とともに、庭を楽しむ患者

60周年記念賞 | 一般建築部門

◆新富士のホスピス 川村病院 | いまここ |

▶ 一級建築士事務所 (株) 山崎健太郎デザインワークショップ | 東京会

既存病院の隣に医療棟とホスピス棟が増築された計画。地域医療の拠点となる、末期がん患者とその家族のためのホスピスである。この施設は、病院と在宅の間のような役割を担うため、末期がん患者の緩和ケアに加えて、患者の家族や友人とゆっくり過ごすことができる住まいのようなホスピスを考えた。病院特有の「孤立」ではなく、日常と地続きになる終の住処である。

計画地は既存の病院に隣接した雑木林のような庭で、この環境に新しい建物が立ち上がるのではなく、昔からそこにあるような「雑木の庭にあるホスピス」にしようと設計を始めた。

与えられたプログラムは、コンパクトな病室（20床）とナースステーション。廊下は患者や家族たちの「居場所」となるように考え、雑木林の庭に対する「回廊」となるように天井高さや空間の大きさに注意しながら設計を行った。

計画は基本的には平屋で、既存樹木を避けるように各々のヴォリュームを決定し、天井の高い部屋やハイサイドライトから樹木の枝葉が見える部屋、庭に手が届く部屋などそれぞれの病室に異なる性格を与えた。外壁と内壁は地場の砂を使い、左官職人たちが丁寧に仕上げ、樹木と調和した人の手を感じる柔らかな印象を持たせている。



回廊では、訪れてきた家族や友人が一日ゆっくり過ごすことができる



既存樹木を避けることで生まれた中庭のせせらぎは子どもたちの遊び場



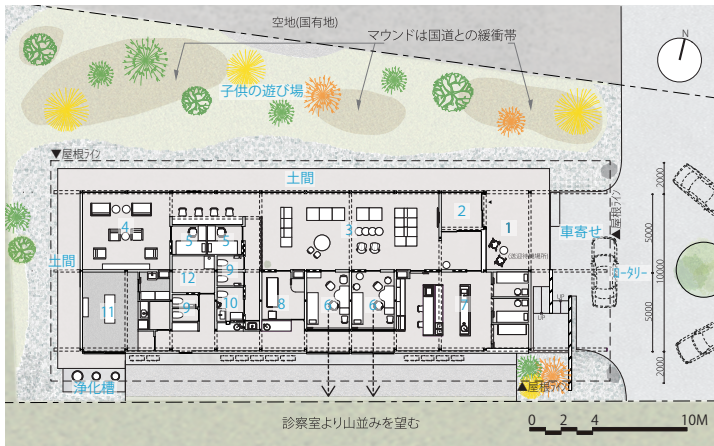
配置図兼1階平面図

| | |
|------|--------------------------------|
| 建設地 | 静岡県富士市 |
| 用途 | 病院 |
| 構造 | RC造、一部S造 |
| 階数 | 地上3階（ホスピス棟：地上2階、塔屋1階、医療棟：地上3階） |
| 敷地面積 | 5,205.81㎡ |
| 建築面積 | 1,257.11㎡ |
| 延面積 | 1,987.68㎡ |



60周年記念賞 | 小規模建築部門

❖ みんなの診療所 ▶ (株) 松山建築設計室 | 福岡会



| 配置図兼平面図 | | |
|------------|-----------|------------|
| 1 エントランス土間 | 5 個室待合 | 9 WC |
| 2 風除室 | 6 診療室 | 10 多目的WC |
| 3 待合室1 | 7 処置室兼事務室 | 11 スタッフルーム |
| 4 待合室2 | 8 レントゲン室 | 12 倉庫 |

医療過疎が進行している奄美大島で、長年救急医療を担ってきたドクターであるクライアントは、かかりつけ医の重要性を主張してきたが、一向に変わらない現状を前に自らがその役割を担うことを決心し、島の診療所としてこのプロジェクトを始動させた。従来の診療行為を主とした場所ではなく、島の人々が病気でなくても日常の延長で気軽に立ち寄れる心の拠り所としての場を提供し、みんなで一緒に健康について語り合える医療の場をつくるのが計画の主題であった。

敷地は奄美北部に位置し、空港と市街地を結ぶ国道沿いにありながらも、山々に囲まれた緑豊かな環境にある。また、奄美大島は



奄美大島の気候風土から生まれた形態



木で包まれた待合空間



まちの公民館的な居場所として地域に開放されている

多い年で年間150日間雨が降る島でもある。こうした条件の下、建築は背後の山々と融合しながら厳しい気候風土にも耐えうる骨格として、深い軒を持つ大屋根で全体を覆う形態とした。主構造は鉄骨造で、大屋根の軸組は木造のハイブリッドとした。2,850mmが

反復するシンプルなスパンに各機能が納められ、台風の脅威に対する強度は鉄骨造が担い、熱対策は木造の大屋根によって輻射熱を抑制し、気候風土と構造形式双方の関係から合理的手法が図られている。

| | |
|------|----------------------|
| 建設地 | 鹿児島県大島郡龍郷町 |
| 用途 | 診療所（患者の収容施設のないものに限る） |
| 構造 | S造 |
| 階数 | 地上1階 |
| 敷地面積 | 2,022.44㎡ |
| 建築面積 | 402.42㎡ |
| 延面積 | 316.00㎡ |



新築した武蔵野クリーンセンター南側外観

❖ 武蔵野クリーンセンター・むさしのエコreゾート

▶ 水谷俊博建築設計事務所一級建築士事務所／鹿島建設（株）一級建築士事務所 | 東京会

迷惑施設というイメージが強いゴミ処理施設を、建て替えに伴い発想を180度転換し、まちづくりとの連携拠点となる場所をエリア一体で形づくることを目指した画期的な施設。新しい工場棟は来館者が自由に入出りできる2階レベルを見学者ゾーンとし、まちに開いたコミュニティ・スペースから大階段で直接アプローチし、内部を回遊することで工場プラント全体を体験できる構成とした。また、旧清掃工場を部分的に保存・コンバージョンし、市民が自由に集まり活動できる交流施設「むさしのエコreゾート」として蘇らせた。



旧清掃工場（事務所）改修後のむさしのエコreゾートカフェスペース

建設地 東京都武蔵野市
用途 ごみ焼却場
構造 SRC造、一部S造、RC造
階数 地上3階、地下2階
敷地面積 17,000.04㎡
建築面積 6,572.21㎡
延面積 12,650.83㎡



南側外観

◆ アネシス茶屋ヶ坂 ▶ 清水建設(株)名古屋支店一級建築士事務所 | 愛知会

都心集合住宅の耐震性、耐火性、居住性を合理的に実現できる建築を、各種実証実験を踏まえた上で、RC造と木造のベストミックスな木質ハイブリッド免震集合住宅として開発した。内部住空間および外観景観に木質部材を表出させることで、住人だけでなく地域住民やまちなみにも木の良さを再認識させる、愛着のあるマチとクラシを育む建築とした。都心での需要が高い中高層集合住宅に国産材を多用することは、循環型・脱炭素社会の形成に寄与することから、都心サステナブル集合住宅のマイルストーンとなる建築を目指した。



木質部材が表出した内部住空間

建設地 愛知県名古屋市
用途 共同住宅
構造 RC造、一部木造
階数 地上4階、地下1階
敷地面積 1,864.17㎡
建築面積 847.57㎡
延面積 3,211.42㎡



工業団地の一角に建つ木工所の創作および交流の場

❖ ^え柄と^え繪 ▶ (株) ヒヤツカ | 福井会

柄をつくる会社・山謙木工所による 700 年の歴史をもつ「越前打刃物」のギャラリー。4 代目社長と蒔絵師の妻がその可能性を広げるための創作の場であり、消費者・生産者との交流を生み出す機能を果たし、会社のブランディングを構築していくプロジェクトの拠点。「完成品の包丁」と「材料である木材」の関係性を示す「透過する 2 つの間」を提案。この展示・保管空間を GL 鋼板小波の屋根が日射から守り、弁柄色のコアで挟む形態とした。その 2 枚の屋根の構造構成が内部に豊かな木質空間をもたらしている。



包丁と材料の展示空間

建設地 福井県越前市
 用途 事務所
 構造 木造
 階数 地上 2 階
 敷地面積 303.20㎡
 建築面積 113.13㎡
 延面積 173.18㎡



西側より見る。周りの住宅地のスケールに配慮したボリュームと、島状の植栽帯により路地状の通路がつけられる

ボーナストラック
BONUSTRACK (株) ツバメアーキテクツ | 東京会

地下化した小田急線の跡地に建つ BONUSTRACK は、個人が小商いを始めやすい環境を生み出し、下北沢の街並みを引き継ぐ新築の商店街をつくる計画である。区画・面積と賃料設定のバランスを調整しながら計画が進められ、その結果1区画10坪（住居5坪、店舗5坪）の兼用住宅が導かれた。全体は4棟の兼用住宅（SOHO棟）と1棟の商業施設（中央棟）から構成される。外構は雑木林の中の商店街をコンセプトに外部空間を大きく設け、入居者にとっては小さな内部空間を補完する共用の庭となる。民間の鉄道会社の土地でありながら、自由度の高い公園のような役割を持つ建築を目指した。



会話する人、通り過ぎる人、働く人、さまざまな人の活動が同時に混在する

- 建設地 東京都世田谷区
- 用途 物品販売店舗、飲食店、長屋（兼用住宅）・食堂、喫茶店、兼用住宅、事務所
- 構造 木造
- 階数 地上2階
- 敷地面積 2,093.35㎡
- 建築面積 503.65㎡
- 延面積 907.35㎡



森を引き込み街とつながる診療所

◆ 森のクリニック ▶ 一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所 | 東京会

歯科医院兼自宅のある敷地南西に小児と矯正を専門とするアネックスを建てる計画。矯正治療は、特に子どもたちには心身のバランスを整えることが大切という施主の考えから、歯科診療と整体関連の融合的なプログラムが求められた。庭に面するように壁をバラバラと配置し、住居へのプライバシーに配慮しながら緑の環境が壁の隙間から緩やかに入り込んでくる建物を考えた。屋根は敷地全体にかかり内外を横断している。架構の連続は支え合って軒を跳ね出し、敷地内の森を引き込みながら周囲の家並みと呼応して街とつながっている。



敷地全体にかかり内外を横断する屋根

| | |
|------|---------|
| 建設地 | 埼玉県新座市 |
| 用途 | 診療所 |
| 構造 | S造 |
| 階数 | 地上1階 |
| 敷地面積 | 789.50㎡ |
| 建築面積 | 430.88㎡ |
| 延面積 | 299.38㎡ |

奨励賞 | 一般建築部門

❖ 楽水山 ▶ (株) 竹中工務店北海道一級建築士事務所 | 北海道会

スキー場を中心にホテル開発が盛んなニセコ地区に建つ羊蹄山を望む全18室の高級宿泊施設。スキー場からは離れているが、交通量の多い道路に面した計画地において、豪雪地域の風土に即した新しい宿泊施設の形式となることを目指した。羊蹄山に正対して分散配置した共用部と客室棟を内部の渡り廊下で「離しつつ、つなげる」ことで、宿泊施設としての利便性・一体感を保ちつつ、客室の独立性を高めた寒冷地ならではの上質の“離れ”を構築した。切妻屋根の建物群が地域の風景に溶け込む集落のような佇まいを創出している。

| | |
|------|-------------|
| 建設地 | 北海道虻田郡倶知安町 |
| 用途 | ホテル |
| 構造 | 木造・S造、一部RC造 |
| 階数 | 地上2階、地下1階 |
| 敷地面積 | 22,625.34㎡ |
| 建築面積 | 3,179.79㎡ |
| 延面積 | 3,426.30㎡ |



❖ 藤田美術館 ▶ 大成建設(株) 関西支店一級建築士事務所 | 大阪会

明治～大正期に関西経済界で大きな功績を残した藤田傳三郎の邸宅跡地に建つ美術館の建て替え計画。かつて周辺一帯が藤田家の大邸宅であった土地の記憶を呼び戻すべく、隣接する都市公園との間にあった高い塀を撤去し、公園に来た人が自由に散策し立ち寄れる美術館とした。人々を迎え入れる大きな底は鉄骨造で開放性を高め、美術品を保護する収蔵庫や展示室はRC造で堅牢な建物とし、温湿度管理や防犯に配慮した。1室しかない展示室でいつ来ても開館している美術館を実現するため、間仕切壁や展示ケースでさまざまな工夫を行った。

| | |
|------|-----------|
| 建設地 | 大阪府大阪市 |
| 用途 | 美術館 |
| 構造 | RC造、一部S造 |
| 階数 | 地上2階、地下1階 |
| 敷地面積 | 3,305.98㎡ |
| 建築面積 | 2,171.63㎡ |
| 延面積 | 4,214.36㎡ |



❖ 奈良ホテル本館（木造）耐震補強工事

▶ ジェイアール西日本コンサルタンツ（株） 一級建築士事務所 | 大阪会



辰野金吾と片岡安が設計し、河合浩蔵が工事監理を行うなど、重要な建築家が関与した1909年竣工の奈良ホテル。歴史的価値を守るため、意匠的にも優れた玄関や上げ下げ窓など外観の保存を最重要と捉えた。耐震補強部材を外部に設けないように計画し、オリジナル部材の保存のためにも撤去する部材が極力発生しない方針とし、補強位置は基本的に床面から天井面までの大壁面に集中させた。客室では長押よりも下部、床より上の範囲の補強とし、床組の根太や格天井に支障することなく補強ができるように計画した。

| | |
|------|---------|
| 建設地 | 奈良県奈良市 |
| 用途 | ホテル |
| 構造 | 木造 |
| 階数 | 地上2階 |
| 敷地面積 | 21,460㎡ |
| 建築面積 | 2,743㎡ |
| 延面積 | 4,599㎡ |

❖ 武庫川女子大学 景観建築スタジオ 東館

▶ 武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ / (株)アスコラル構造研究所 / (株)森村設計 | 兵庫会



2020年4月に新設した武庫川女子大学大学院景観建築学専攻・景観建築学科の新校舎。敷地は、2006年より建築学科の学舎として保存・活用している旧甲子園ホテル（遠藤新設計、1930年竣工）の東側。建築学部の教員で運営する一級建築士事務所が設計・監理を行った。また、大学院生が一級建築士の実務経験として認定されている演習科目の中で、設計や現場監理、周辺の庭園計画に参加した。歴史的建造物もつ、時代の文化を象徴する文法の継承や、形態の引用をしながら、新しい空間を提案することを目指した。

| | |
|------|------------|
| 建設地 | 兵庫県西宮市 |
| 用途 | 大学 |
| 構造 | RC造、一部S造 |
| 階数 | 地上2階 |
| 敷地面積 | 35,625.77㎡ |
| 建築面積 | 660.07㎡ |
| 延面積 | 1,087.68㎡ |

❖ 尾道市因島総合支所 ▶ (株) あい設計 | 広島会

広島県と愛媛県を結ぶ「しまなみ海道」を構成する島の一つ、因島の支所庁舎の建て替え計画。「しまの駅」を基本コンセプトに、支所機能だけでなく、地域住民と観光客などさまざまな出会いと交流が生まれる、地域の新たなシンボルとなる施設を創造した。

瀬戸内の美しい風景を最大限に活かすべく、「しまなみゲート」と名付けたエントランスピロティを設け、まち・広場・海が一体となった、公園の中の支所庁舎を実現。海側の芝と階段状デッキをステージと客席に見立て、イベントも開催可能な施設とした。

| | |
|------|-----------|
| 建設地 | 広島県尾道市 |
| 用途 | 事務所（庁舎） |
| 構造 | RC造、一部S造 |
| 階数 | 地上3階 |
| 敷地面積 | 6,403.81㎡ |
| 建築面積 | 1,465.11㎡ |
| 延面積 | 2,166.03㎡ |



奨励賞 | 小規模建築部門

❖ ESCALIER 麹町 ▶ (株) 櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS | 東京会

四ッ谷駅近く、北側に接道、東側・南側は由緒あるお寺という地で、三方開けた立地を活かすために西側にコアを寄せ、各階のボリュームを三方向にずらすことで、中間領域として緑溢れるバルコニーを創出。バルコニーを階段でつないで上下階のコミュニケーションを誘発し、街と関係性・連続性を持てるようにした。周辺環境・方位に呼応する形で壁を開閉し、外皮省エネ性能にも配慮。共用部は設備シャフト・廊下・階段・バルコニーを屋外化することで貸床面積を最大化し、レントブル比100%を実現して事業性を確保した。

| | |
|------|---------|
| 建設地 | 東京都千代田区 |
| 用途 | 事務所 |
| 構造 | PRC造 |
| 階数 | 地上5階 |
| 敷地面積 | 189.00㎡ |
| 建築面積 | 132.05㎡ |
| 延面積 | 445.75㎡ |



おろし
❖ 下石の通い所 ▶ ほとり建築事務所 / Uo.A | 兵庫会



岐阜県下石町の通所りハビリテーション（デイサービス）施設。まちに開かれた設えにより、人が立ち寄りやすく、日常的により身近に介護を感じられる施設の姿を模索した。施設では色々なプログラムが行われるため、フレキシブルな空間が必要になるが、広すぎる空間は家庭の延長として求める安心感が損なわれる。そこで、表情のある地域産の木材を利用した柱壁やトラス梁によって、分節しながら緩やかにひとつながりの空間を計画し、場所によって異なる広がりを生み出した。

| | |
|------|-----------|
| 建設地 | 岐阜県土岐市 |
| 用途 | デイサービス |
| 構造 | 木造 |
| 階数 | 地上1階 |
| 敷地面積 | 1,325.20㎡ |
| 建築面積 | 554.00㎡ |
| 延面積 | 499.65㎡ |

❖ 森の潜水艇 ホップこども園 森棟 ▶ (株) 高田建築設計事務所 | 新潟会



ジャングルのように荒れていた庄屋の屋敷森を再生したこども園の計画。かつてその森で遊んでいた子どもが近隣のこども園の園長となり、子どもたちの心身を豊かにする「あそびとまなび」の教育を実現する場として、設計を依頼された。建物への命題は、子どもたちを森に還し活発な交流を促進できる機能と意匠であり、怖がらずに自然に積極的にアクセスする気持ちを引き出すため、「森の潜水艇」をコンセプトとした建物では、帰還、発見、共有の3つのテーマのもと、設計を行った。

| | |
|------|-------------|
| 建設地 | 新潟県長岡市 |
| 用途 | 幼保連携型認定こども園 |
| 構造 | 軽量S造 |
| 階数 | 地上1階 |
| 敷地面積 | 2,079.08㎡ |
| 建築面積 | 347.40㎡ |
| 延面積 | 263.31㎡ |

◆ 瀬戸新屋の家 ▶ (株) SN Design Architects 一級建築士事務所 | 静岡会

閑静な住宅に計画した夫婦2人の住まい。緑豊かな庭と開放的なつながりを持つ住宅が建築主の希望であった。敷地は、南側道路路面よりも約1.3m小高い地盤面で、基壇の性質上、街と切り離された印象があった。駐車スペースと基壇擁壁、アプローチ、建物をそれぞれ単体としてレイアウトすると開放的なつながりが得られないため、アプローチや駐車スペースはすべて庭の一部と捉え、土留め壁のような基壇構造はあえて設けず、地盤を開放したかのようにゆるやかな傾斜とすることで、街との接続を試みた。

| | |
|------|---------|
| 建設地 | 静岡県藤枝市 |
| 用途 | 一戸建ての住宅 |
| 構造 | 木造 |
| 階数 | 地上2階 |
| 敷地面積 | 193.88㎡ |
| 建築面積 | 85.08㎡ |
| 延面積 | 108.83㎡ |



◆ Rural House ▶ 葛島隆之建築設計事務所 | 愛知会

計画地は市街化調整区域で、遠くには鈴鹿山脈を望み、周辺には田畑が広がるのどかな場所にある。前面道路は緩やかな坂道で、敷地内には榎木の群生の森がある。建主は北隣に建つ母屋1階で歯科医院を営んでおり、住宅を含めた敷地一帯の計画を希望していた。

建物は変形した敷地境界に沿ってほぼそのままの形で平面を立ち上げ、塀や垣根は設けず、1m以上ある高低差は造成せずそのまま室内にスロープとして取り込んだ。特徴的な環境を建築の個性として置き換えて、設計を行った。

| | |
|------|-----------|
| 建設地 | 三重県員弁郡東員町 |
| 用途 | 一戸建ての住宅 |
| 構造 | 木造、一部S造 |
| 階数 | 地上1階 |
| 敷地面積 | 248.61㎡ |
| 建築面積 | 125.41㎡ |
| 延面積 | 112.62㎡ |

